

59 後沢遺跡
 60 後沢遺跡出土遺物



指定 市 史 跡 昭和62年10月20日
 所在地 小 宮 山
 所有者 佐 久 市

指定 市有形文化財 昭和62年10月20日
 所有者 佐 久 市



後沢遺跡は野沢平西側の小宮山字後沢の片貝川西方の舌状台地上に位置している。昭和51・52年（1976～77）に宅地造成に伴い発掘調査が行われた。

当遺跡は、佐久地方で初めて全面発掘を行った遺跡であり、縄文時代前期から平安時代の集落形態の全容が明らかにされた事例である。史跡とし弥生時代後期の方形周溝墓2基と住居址4軒が保存されている。

24号住居址出土遺物としては、鉄器1点が入り口部より、壺・甕・台付甕・高坏・蓋・坏がほぼ完形の状態で東壁南半分より集中して出土しており、甑（米などを蒸すのに用いる器）は欠落しているが、弥生時代後期の使用器種を知る上で貴重なものである。

24号住居址出土遺物 壺・甕・高坏・坏など25点 鉄器1点